

準グランプリ獲得証明書

秋田県 米代川水系

阿仁川

貴河川で育った鮎は、高知県友釣連盟主催「第 24 回 清流めぐり利き鮎会」において 準グランプリの栄冠に輝きました これはすぐれた河川環境と清流が保たれている証として

ここに獲得の証明をいたします

令和 5 年 9 月 15 日

高知県友釣連盟理事長

内山 顕一



阿仁川漁業協同組合御中

令和5年9月15日

準グランプリ獲得証明書発行について

貴河川で育った鮎は、令和5年9月15日 高知県高知市で開催されました。「第24回清流めぐり利き鮎会」において、栄えある準グランプリを獲得いたしました。その栄誉をたたえ、ここに準グランプリ獲得の証明をいたします。

この賞は、河川環境のバロメーターとして、数値を使うのではなく清流めぐり利き鮎会に参加されました260名の舌で、清流を吟味したものです。参加されました鮎は味だけでなく、姿・香り・わた・身・総合の5項目を審査対象として、河川名を隠し厳正に審査いたしました。

参加河川は全国の54河川 これを9ブロックに分け、その中より最も優れた鮎を育てた河川を選出し、第二次審査を行い本年度は岐阜県 馬瀬川がグランプリ河川となりました。そして第二次審査に残られました河川を準グランプリとして表彰いたしております。

天然鮎は同一河川であっても、取れた場所や時期によって味が大きく違う事は理解しております。しかしながら河川や水になじみの無い方々に、河川環境の大切さをわかっていただくためには、数値よりも鮎の味で理解してもらう事が早道だと考え、全国の釣人のご協力を得て開催しております。

河川環境の良い川と、そうでない川の鮎と一緒に食べていただくと、味の違いはハッキリと出ます。何故鮎の味が違うのか？また、美味しい鮎とは何かを知っていただき、河川環境の大切さに気づいていただく為に開催しており、本当に美味しい鮎を食べた事で、多くの方が環境保全に関心を持っていただくことを目標に開催しております。

その中でも貴河川におかれましては、利き鮎会を通して全国に誇れる河川環境の良さが証明されました。この河川環境と水質の良さが、いつまでも続きますよう心からお願い申し上げますこの証明書を発行いたします。

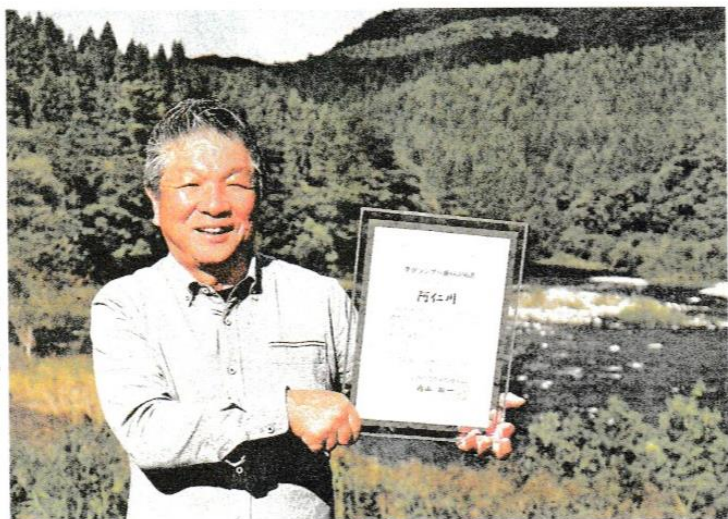
高知県友釣連盟
理事長 内山顕一

北秋田市の阿仁川で釣れたアユが、食味や姿形を審査して日本一のアユを決める「第24回清流めぐり利き鮎(あゆ)会」で準グランプリに選ばれた。上位に入るのは

初めてで、阿仁川漁業協同組合の菊地賢一組合長は「全国トップクラスの評価を受けることができた。地域の誇りだ」と喜びを語った。

食味など全国審査 清流めぐり利き鮎会

阿仁川アユ準グランプリ



阿仁川をバックに準グランプリの証明書を手にする菊地組合長

利き鮎会は高知県友釣連盟の主催で、アユを通して河川環境の保全に関心をもち、つてもらおうと1998年

優れた環境、高い評価

から開かれている。今年は先月15日に高知市で開かれ、阿仁川を含む全国の54河川から計約2200匹が出品された。1次審査は9ブロックに分かれて実施。この川で釣れたアユが分らないようにした上で、関係者ら約260人が炭焼きを試食し、▽姿▽香り▽わた▽身▽総合の5項目を採点した。9ブロックでそれぞれ1位に選ばれた河川のアユが2次審査に進める方式で、阿仁川のアユは1次審査を見事通過。2次審査も同様に5項目の採点が行われ、馬瀬川(岐阜県)のアユがグランプリに輝き、阿仁川を含む8河川のアユは準グランプリとなった。阿仁川漁協は初出品した2019年に1次審査を通



阿仁川で取れたアユ(阿仁川漁業協同組合提供)

過できず、今回が2度目の挑戦だった。上位を狙おうと考えた菊地組合長は7月以降、釣り人が釣ったアユの全長や重さ、見た目などをチェック。質のいい個体を譲り受けて冷凍保存してきた。利き鮎会にはその中でもよりすぐりを出品したという。「阿仁川は清流が保たれ、アユの餌となるコケが豊富。優れた環境が質のいいアユにつながっている」と高評価の要因を分析。「昔からおいしと言われてきたが、客観的な評価を得ることができてうれしい。次の目標は日本一。河川環境を維持し、より多くの人にアユ釣りやアユ料理を楽しんでもらいたい」と笑顔を見せた。(石塚佳治)